「第８回 阿武隈川上流流域治水協議会」及び「第12回 阿武隈川上流大規模氾濫時の減災対策協議会」を開催
～ 阿武隈川緊急治水対策プロジェクトの進捗状況、各機関の流域治水の取組状況や課題を共有し流域内連携を促進～

流域治水

○ 「第８回阿武隈川上流流域治水協議会」では、阿武隈川流域治水プロジェクトの進捗状況や各機関における流域治水の取組状況や課題等について共有や意見交換を実施するとともに、令和７年12月に阿武隈川水系河川整備計画を変更したことも踏まえ、「流域治水プロジェクト2.0」の取組内容を更新していくことを確認。

○ 「第12回阿武隈川上流大規模氾濫時の減災対策協議会」についても合同で開催し、これまでのフォローアップ結果（令和３年度～令和７年度）を共有するとともに、令和12年度までの目標として新たなソフト対策等を盛り込んだ「阿武隈川上流の減災対策に係る取組方針（改定案）」について議論し承認を得た。

１．日時／議事内容

- 日　時：令和８年１月30日（金）13:30～15:10
- 場　所：郡山市総合福祉センター ５階 集会室
- 出席者：市町村長を含む全36名が出席（対面・web）
- 議　事：

【阿武隈川上流流域治水協議会】
1．協議会規約変更
2．阿武隈川における治水対策の進捗
3．各機関における流域治水の取組
4．特定都市河川に関する検討状況
5．流域治水プロジェクト2.0の時点更新

【阿武隈川上流大規模氾濫時の減災対策協議会】
6．協議会規約変更
7．フォローアップ結果共有と取組項目の更新
8．阿武隈川上流の減災対策に係る取組方針（改定案）



２．開会挨拶



福島河川国道事務所　望月所長

- 各機関の取組内容を共有していただくことで流域治水の更なる深化に繋げたい。
- 本協議会を通じて、流域全体が一丸となって協力・ 連携しながら、流域治水・防災減災を推進して参りたい。

３．各機関の取組状況の共有・意見交換



福島県　矢澤土木部長

- 河川改良、河道掘削、伐木、堤防強化、危機管理型水位計・簡易型河川監視カメラ・ワンコイン浸水センサの設置、土砂災害の発生の恐れのある場所の公表等を実施している。
- 令和８年２月28日にはうすい百貨店にて「流域治水セミナー」を開催予定。
- 引き続き、関係部局とも連携し、流域全体で浸水被害軽減が図られるよう取り組んでいく。



須賀川市　大寺市長

- 防災指針を盛り込んだ立地適正化計画の改定、分水路整備、「田んぼダム」の取組、ため池貯留、雨水貯留機能を有する西川中央公園の再整備を実施した。
- 水防・避難に関しては、情報伝達の多重化に取り組んでいる。
- 防災を自分ごととして捉えるための市民参加の機会創出にも取り組んでいる。
- 安全への意識を高め合うことで、安心して暮らせる活力ある元気なまちづくりを進めていきたい。



玉川村　須釜村長

- 遊水地の整備にあたり、移転、補償、内水処理対策、遊水地の地内利活用、財政支援の不足など様々な課題と向き合っている。
- 代替地整備、農地利用に向けた実証実験、民間と連携した遊水地の利活用等の国の地域に寄り添った対応は大変心強く、大いに期待しているため、引き続き積極的にご対応いただきたい。
- 遊水地を含む流域治水は、流域全体で様々な関係者が取り組むことであり、十分な治水効果を長く発揮するためにも取り組みの持続性が重要であり、制度的な支援や共有が必要。
- 地域の流域治水の取り組みが相互協力のもと、持続的かつ効果的に進められるように国・県においては積極的に取り組んでいただくようお願いする。



桑折町　髙橋町長

- 遊水地立地町村の犠牲のうえに下流域の安全が守られることに対して心から御礼申し上げる。
- 下流域を守る遊水地事業への感謝の思いをしっかりと認識いただけるように、理解促進に繋がる取り組みを進めていきたい。



二本松市　三保市長

- 上流遊水地の整備にあたっては玉川村、鏡石町、矢吹町にて用地のご協力や、住宅移転を余儀なくされた地権者の皆様方のご協力・ご尽力に心から感謝申し上げる。
- 皆様方のご理解・ご協力のおかげで流域治水が進められることを市民へさらに広く普及して参りたい。